

別紙 発表者(令和6年度チャレンジャー)

【敬称略、五十音順】

<p>【子育て中の母親のための託児機能付きシェアサロン事業】 井田 愛美</p>
<p>【事業の概要】 子育て中の母親のウェルネス(身体的、精神的、社会的に良好な状態)を維持・向上し、子育て支援と女性の社会参加を促進するため、託児機能付きシェアサロンを運営する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 育児とキャリアの両立が難しいと痛感した自身の経験から、女性が子育てをしながら、仕事と自身のケアができる、理想の居場所をつくりたいと考えたこと。</p>
<p>【農産物加工品ブランディング及び耕作放棄地の活用による、新しい農業の価値創造事業】 市川 高</p>
<p>【事業の概要】 農産物加工品をブランディングし付加価値を高めるとともに、耕作放棄地を活用して自社農場を確保し生産性を向上することで、農業分野において新しい価値を創造する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 200年続く農家に生まれ育ち、日本の農業の現状と未来を見据えた時に「100年先も続く日本の農業」を実現するため、農産物加工品の価値を高め、国内そして世界へと発信していきたいと思ったこと。</p>
<p>【適切な授乳方法を支援する専門家による育児支援体制構築事業】 勝山 仁美</p>
<p>【事業の概要】 全国の病院と連携して、資格を持った専門家が適切な授乳方法についてアドバイスをを行うサービスを提供し、育児支援体制を構築する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 アメリカで出産した際、入院中から退院後まで受けた授乳支援の専門家の継続的サポートにより、心身ともに助けられた経験から、その重要性を実感したこと。</p>
<p>【個々の患者に関連する遺伝子変異情報の絞り込み及びレポート作成を自動化するシステムの構築】 木本 直樹</p>
<p>【事業の概要】 患者の遺伝子変異情報や症状から、関係論文と薬剤情報を参照して自動で関連情報の絞り込みを行うアルゴリズムと、患者ごとにカスタマイズされたレポートを自動で生成するシステムを構築し、医療従事者に提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 AIと遺伝子解析分野における自身の知見を活かし、個別化医療の実現に貢献するとともに、昨今の医療従事者の人手不足解決に寄与したいと考えたこと。</p>

【企業経営者等を対象とした企業ブランディング・メンタルコーチング事業】

中澤 亜衣

【事業の概要】

企業経営者と従業員の意欲向上に向けて、企業のブランディングとメンタルコーチングを掛け合わせたサービスを提供する。

【取り組むきっかけ】

経営者と従業員双方の立場を経験した自身の経験に照らして、企業理念を形骸化させず効果を上げるためには両者の内省を促し双方の価値観をブランドとして可視化することが必要だと感じたこと。

【シニア人材の活躍を支援する人材コミュニティサービス事業】

名智 伸明

【事業の概要】

シニア人材の流動性を高めて企業から「卒業」した後の活躍を支援する、人材コミュニティサービスを提供する。

【取り組むきっかけ】

自身が新卒として希望を持って入社した大企業で、配属先のシニア世代の社員が、一見活気のない雰囲気に見えたところ、実際にはスキルや経験を活かしてチャレンジしたい気持ちを持っており、そうした方々の背中を押す仕組みをつくらうと思ったこと。

【親子間の共通言語を見出し子どもの主体性を育む体験型プログラムの提供事業】

浜田 郁

【事業の概要】

子育てにおける親子間の言語ギャップを「見える化」して解消し、共通言語を見出すことで、子どもの主体性を育む子育てやコミュニケーションにつなげるための体験型プログラムを提供する。

【取り組むきっかけ】

保育士として子どもの成長を支える関わり方を大切にしてきたが、自身が母親となった際、我が子にはそのような関わり方ができず、葛藤を抱いたこと。

【離婚を考える親と離婚を経験した親子をサポートするためのプラットフォーム提供事業】

原田 琉碧

【事業の概要】

離婚を検討する当事者が、過去に離婚を経験した親子や専門家等に相談することができ、また、離婚を経験した親子に心理的なサポートを行うLINEプラットフォームを提供する。

【取り組むきっかけ】

10歳の時に両親の離婚を経験し、離婚手続で苦勞する親の助けができず悔いが残った。その後、離婚経験者へのヒアリングを通じて、離婚手続のサポート不足や情報過多が、心理的余裕を奪い、離婚後の生活にも影響を与えている現状を知り、子どものため、また自らのために離婚という選択肢を検討している人の葛藤と向き合い、支援したいと感じたこと。

【自然系カーボン測定・クレジット認証申請支援による地域脱炭素の推進事業】

武藤 素輝

【事業の概要】

地方自治体を対象に、水中ドローンやAIを活用した効率的な自然系カーボン測定サービスの提供とJブルークレジット認証申請の支援を行い、地域における脱炭素を推進する。

【取り組むきっかけ】

AIを活用した魚養殖の支援に取り組む部署で働いた際に、世界で深刻化する海の環境変化（磯焼け被害）と、海藻が気候変動対策や海洋生態系に果たす重要な役割を認識したこと。

【メンタルヘルス対策に資する科学的な旅行・体験づくり推進事業】

和田 真奈

【事業の概要】

日常生活でストレスを感じている方を対象に、心理統計のビッグデータとAIを活用し、個人に合った科学的な癒やしとなる旅行や体験を提案することで、心の不調の予防と体の健康づくりを支援する。

【取り組むきっかけ】

家族の心の病をきっかけに、予防と早期回復の大切さを学び、「デジタル依存」や「休養への罪悪感」が早期の回復を妨げている状況を改善するため、癒しの資源が豊富な土地で、気軽に休める体験を届けたいと考えたこと。